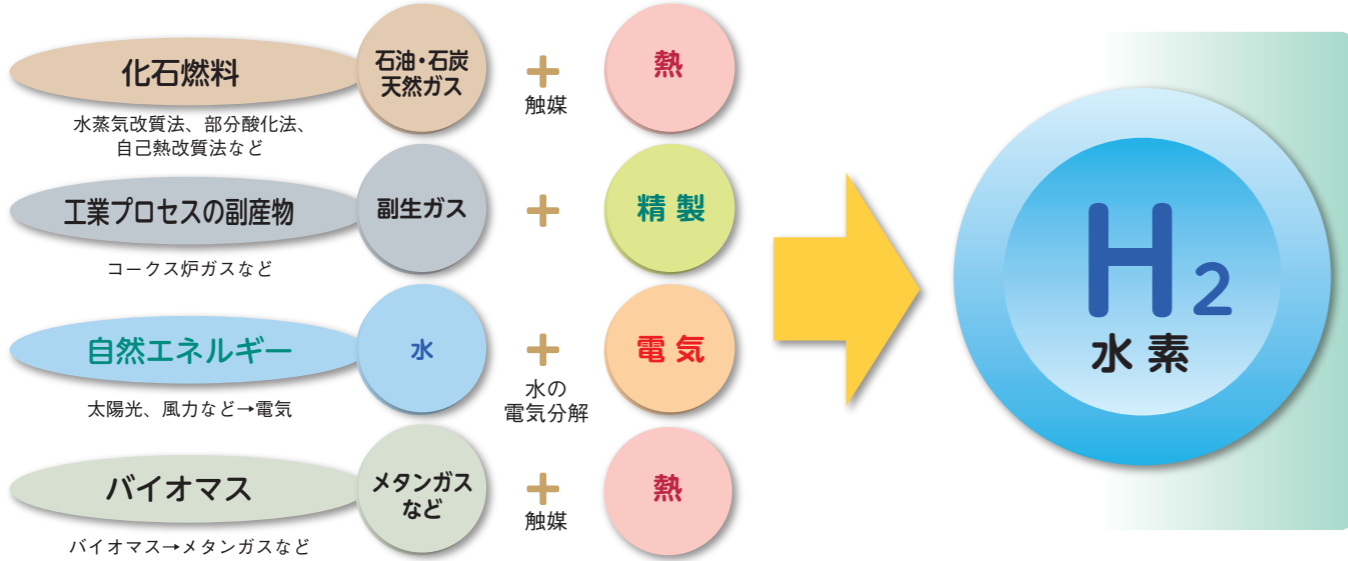


水素エネルギーは未来のエネルギー!

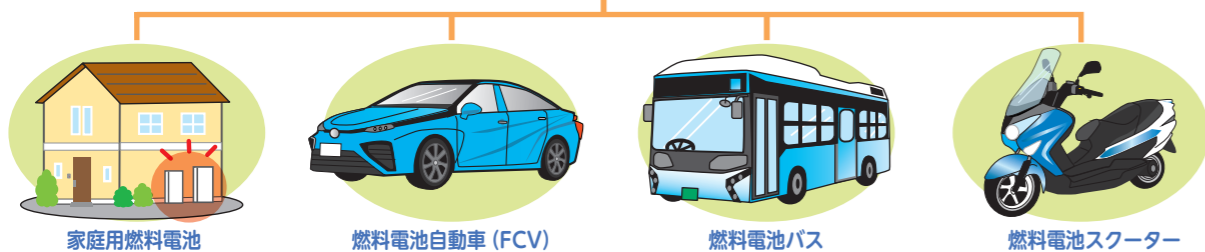
● 水素の作り方

水素は太陽光や風力などの自然エネルギーのほか、様々なエネルギー源から製造できるので安定した供給が可能です。



● 水素から電気をつくる

水素と酸素を燃料電池で反応させると電気と水が発生します。その電気は各家庭で使用したり、モーターを回して燃料電池自動車といった乗り物を動かすのに使用できます。



● 水素社会の実現に向けて

世田谷区は、東京都、自治体、関係機関や民間企業等が2017年11月に結成した「Tokyoスイソ推進チーム」の一員として、連携して取組みを進めています。

Tokyo スイソ推進チーム
官民が連携して水素エネルギーの普及にむけた活動を行っています。



水素情報館東京スイソミル
目に見えない水素のことや水素社会の将来像を、見て触って体験しながら楽しく学べる総合的な学習施設です。



再生紙を使用しています。植物油インキを使用しています。

音声コード

問い合わせ 世田谷区 環境政策部 エネルギー施策推進課
電話 03-6432-7133 FAX 03-6432-7981



音声コード

水素エネルギーの活用を進めています



世田谷区は、次世代エネルギーである水素エネルギーの導入や普及啓発に積極的に取り組み、水素社会の実現を目指しています。

注目されるエネルギー「水素」

石油などの化石燃料は埋蔵量に限りがあります。一方、水素は様々な資源から作ることができるため、エネルギーの安定的な確保につながります。太陽光や風力から作った電気を使い水素を製造することで、二酸化炭素を排出せず、地球温暖化の防止にも貢献します。

1 CO₂を出さない

2 様々な資源から作られる

3 貯めておくことができる

地球温暖化対策と水素エネルギー

家庭や会社で使う電化製品や自動車を始めとした乗り物を動かすためには、電気やガソリンが必要です。その電気を作るため、また乗り物を動かすために化石燃料を使用すると多くの二酸化炭素(CO₂)が発生します。二酸化炭素が地球の大気に蓄積され温室効果ガスの濃度が増加することが地球温暖化の主な原因と言われています。地球が温暖化することで気候が変化し、

環境が破壊され、大雨や干ばつなどの異常気象をもたらすなど、自然生態系や人間社会に大きな影響を及ぼしていると考えられています。

水素エネルギーは利用段階で二酸化炭素(CO₂)を発生しないので、クリーンなエネルギーとして期待されています。

燃料電池自動車(FCV)を区の公用車に導入しました



燃料電池自動車(FCV=Fuel Cell Vehicle)とは、車に貯めた水素と空気中の酸素を燃料電池で化学反応させて電気を生成し、モーターを回して走る自動車です。

FCVの特徴

水素で走るFCVは、走行時に水しか排出せず、地球温暖化の主な原因とされる二酸化炭素(CO₂)や、大気汚染につながる窒素酸化物(NOx)などを排出しません。ガソリン車と比べて騒音や振動も少ないことから、環境にやさしい車と言われています。

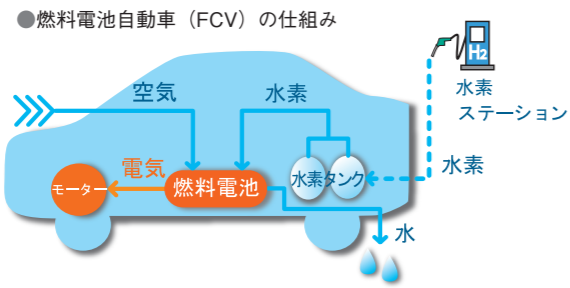
公募したデザインをラッピングして走っています

世田谷区では、平成29年(2017年)4月、公用車にFCVを導入しました。水素エネルギーの普及・啓発に活用するため、車のデザインを公募し、大賞となったデザイン

をラッピングしました。区内を走行するほか、イベントなどで車を展示し、給電機能の実演を行っています。



大賞を受賞した東儀秀樹さん・典親さん親子



FCVのほか、東京都内では燃料電池バス(FCバス)の運行も始まっています。

音声コード

移動式水素ステーションが世田谷にやって来る!



移動式水素ステーションから燃料電池自動車(FCV)に水素を供給している様子

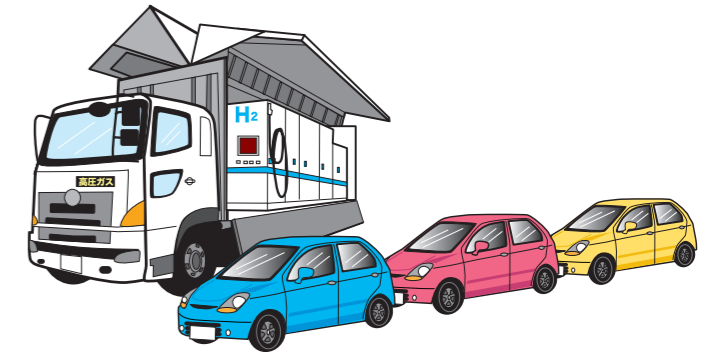
移動式水素ステーションは、大型トレーラーに水素供給設備を搭載し、あらかじめ指定された場所に移動して水素を供給するものです。

このステーションは東京二十三区清掃一部組合、合同会社日本移動式水素ステーションサービスと世田谷区の三者の連携により開設しました。



●運営情報●

名称：ニモヒス水素ステーション世田谷
 営業場所：世田谷区大蔵1-1-1(世田谷清掃工場内駐車場)
 営業時間：毎週月・水曜日の午前10時～午後3時
 ただし、祝日及び清掃工場の定期点検期間(概ね7月下旬～10月下旬)等を除きます。
 電話番号：070-3516-5580(営業時間中のみ)



貯蔵できるエネルギー

電気は貯めておくことが難しい一方、水素は貯めることができます。そのため、災害時に停電が発生しても独自の電源として活用することができます。

水素を満タンにしたFCVであれば、外部給電器をつなぐことで、一般家庭の1週間程度の電力を供給することができます。



音声コード